

時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい
マルコ一章15節

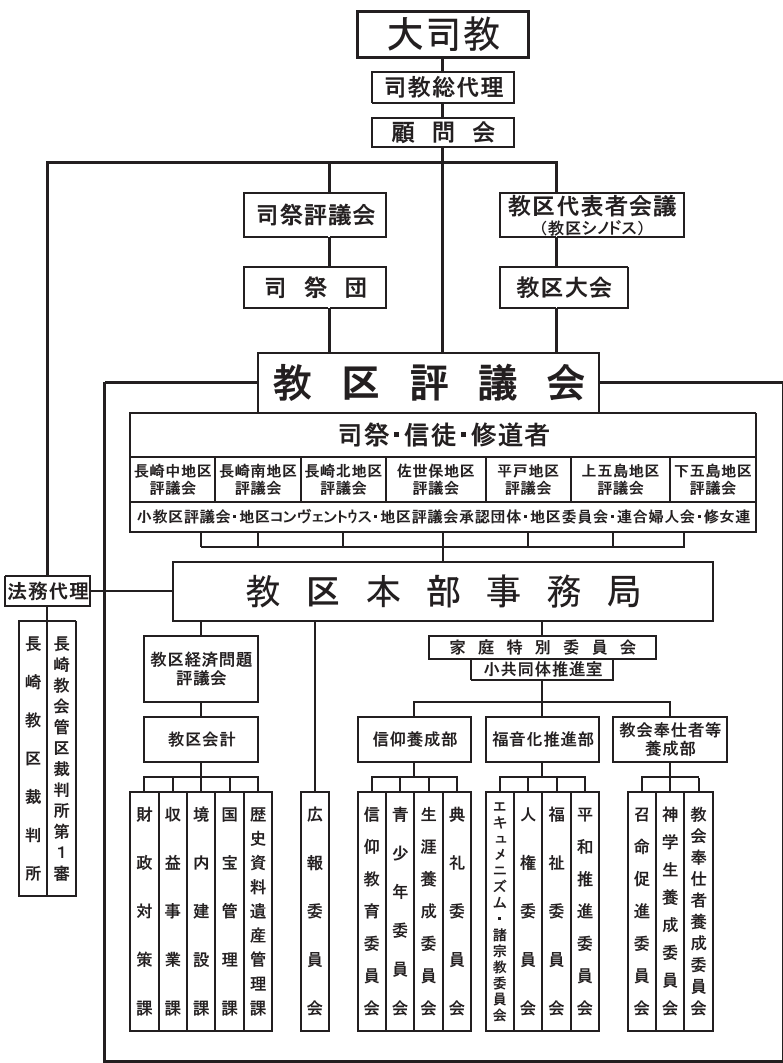
発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 下 窄 英 知
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



2月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：水資源の確保
- ②宣教の意向：保健・医療・福祉で働く人びと
- ③日本教会の意向：出生前のいのちを守る

第4期 長崎大司教区組織図



昨年10月25日開催の顧問会において、教区の第4期活動計画に伴う教区組織図が確定した。今回、地区が連携、一致、協力して、教区全体の宣教・司牧活動を推進する教区

第4期(2011年4月1日～2014年3月31日) 活動計画に伴う教区組織図が確定

評議会の中に、教区本部事務局や各部、委員会を位置付けたことにある。これにより、各委員会活動が教区評議会の活動の一部となり、神父と信徒、教区と地区・小教区の団結のうちに推進されることと期待されている。

洗者ヨハネ 竹谷 音吉 神父 帰天



91年6月深堀教会主任、97年4月引退し、聖マリアの園(五島市)に入所していた。

昨年12月14日午前11時、腎がんのため五島市の聖マリア病院で帰天。92歳。1919年8月29日、南松浦郡新上五島町生まれ、仲知教会出身。52年3月19日大浦天主堂で司祭叙階。同年4月三井楽教会助任、53年7月久賀島・浜脇教会主任、60年9月水の浦教会主任、70年2月稲佐教会主任、83年3月太田尾教会主任、

12月14日聖マリアの園で仮通夜、15日浦上教会信徒会館で通夜。葬儀・告別式は16日午前11時に浦上教会で高見三明大司教司式のもと行われた。竹谷神父は、司祭・修道者の召命の育成に熱心であり、その働きは多くの実りをもたらした。2012年には司祭叙階ダイヤモンド祝(60周年)を迎える予定だった。

叙階・選任・認定式のお知らせ 司式：高見三明大司教

叙階式

2012年2月26日(日)15時 浦上司教座聖堂
司祭叙階受階者 ペトロ 大水 満(曾根・大水)
助祭叙階受階者 フランシスコ・ザビエル 小島 明(浜脇) ヨハネ 中野健一郎(本原)

選任式

2012年2月25日(土)14時 浦上司教座聖堂
祭壇奉仕者受任者 ミカエル 川端 志範(滑石)
朗読奉仕者受任者 ヨゼフ 稲田 伸也(諫早)

助祭・司祭候補者認定式

2012年3月18日(日)10時 田平教会
候補者 パウロ 山内 啓輔(田平)



大浦教会

大浦教会では今年も、神の母聖マリアの祭日に新成人のためのミサが執り行われた。当日は5人の若者たちがスーツ姿で出席した。元日でもありミサの参加者は多く、後輩の中高校生たちも駆け付け、教会に活気が戻った。

奈留教会

奈留教会(本田靖彦主任神父)では、1月1日のミサの中で新成人を祝う。お祝い式の司会とあいさつは高校生が担当。多くの子供たちは高校を卒業後、就職や進学のために鳥を離れていくが、若者の教育に心掛けてくださ「神を離れては人間らしく生きられません」という教皇さまの年頭の言葉を引用して話した。新成人たちは峰主任神父から「祈りと祝福」をいただき、抱負と感謝の言葉を述べて式を終えた。

三浦町教会

三浦町教会(阿野武仁主任神父)は新年最初のミサ後、新成人はミサの会衆を前に、それぞれあいさつをした。抱負の中で「教会を忘れず、祈ります」という言葉に先導個人で意見の違いがあることだろうが、一度、立ち止まって振り返りたいテーマだ。

各教会で新成人のお祝い

1月の第2日曜日は成人の日。長崎教区内の教会でも新成人をお祝いする習慣があるが、元旦のミサで新成人のお祝いをした教会のうち、主任司祭からの特別な祝福、高校生による司会とあいさつ、「愛と絆と犠牲に満ちた共同体づくり」への招きなどがあつた3教会について紹介する。



け、教会に活気が戻った。



ミサにおいて「神の母聖マリアの祭日」と「世界平和の日」を祈念し、大聖年の2000年から「新成人」も祝っている。昨年は、東日本大震災で未曾有の被害が発生した。今年は、愛と絆と犠牲に満ちた共同体を目標に行動する教会への努力が皆に期待されている。

2012年 教区・地区年間行事予定	※日程など変更する場合があります。	
行事	日程・場所	主催など
結婚講座	2/3~28 カトリックセンター	家庭特別委員会
日本26聖人列聖150周年記念講演会・映画上映会	2/4 カトリックセンター	教区
日本26聖人殉教記念ミサ	2/5 西坂	教区(長崎南地区)
日本カトリック難民移住移動委員会長崎教会管区セミナー	2/11 熊本市	難民移住移動委員会長崎教会管区
広島・長崎 宗教者平和会議	2/21~22 長崎市	エキュメニズム・諸宗教委員会
信仰養成講座 修了式	3/4 カトリックセンター	生涯養成委員会
東日本大震災1周年にあたり「追悼と再生を願う合同祈禱礼拝」	3/11 浦上教会	エキュメニズム・諸宗教委員会
信徒発見ミサ	3/17 大浦天主堂	大浦教会
聖香油ミサ(司祭の日)	4/3 浦上教会	教区
聖書講座開講	4/19 カトリックセンター	生涯養成委員会
信仰養成講座開講	4/21 〃	〃
教区評議会総会	5/3 カトリックセンター	教区評議会
130回クルシリヨ	5/3~6 立山修道院	クルシリヨ事務局
雲仙殉教祭	5/20 雲仙	教区(長崎北地区)
井持浦ルルド祭	日程未定 玉之浦町	下五島地区
日本26聖人列聖150周年記念列聖感謝ミサ(講演会 6/9開催)	6/10 浦上教会	教区
原爆殉難者慰霊祭	8/8 原爆落下中心地(長崎市)	エキュメニズム・諸宗教委員会
平和祈願祭	8/9 長崎市	教区(長崎中地区)
平和祈願祭	8/15 佐世保市	佐世保地区
マルマン神父没後100年記念ミサ	8/19 黒島	黒島教会
131回クルシリヨ	9月 佐世保地区	クルシリヨ事務局
大村殉教祭	9/2 大村	教区(長崎北地区)
結婚講座	9/4~28 カトリックセンター	家庭特別委員会
福者カミロ・コンスタンツォ殉教祭	9/16 田平	教区(平戸地区)
聖トマス西と15殉教者ミサ	9/23 中町教会	教区(長崎南地区)
正義と平和全国集会	10/6~8 長崎	平和推進委員会
牢屋の殉教祭	10/28 久賀町	浜脇教会
死者の月・追悼ミサ	11/4 浦上教会	教区
黒瀬の辻殉教祭	日程未定 生月町	平戸地区
平戸ザビエル祭	12/2 平戸市	教区(平戸地区)
クリスマス募金一葉募金	12/1~1/15 通年	教区評議会

ほしな

先生から見た良い生徒、生徒から見た良い先生、互いの見方には違いがあると思う。上司から見た良い部下、部下から見た良い上司や、お店から見た良いお客、お客から見た良いお店も同様だろう。互いに、自分の都合や利害を判断基準にして、相手の良いしあしを決めることが多いのではないだろうか。では、あなたの配偶者、あなたの親、あなたの子どもの良しあしについてはどうだろう。わたしたちの多くが、自分の都合や利害を判断基準にはしたくないだろう。そもそも、家族のような人間関係は、自分の都合や利害を超えた交わりなのだ。▲この交わりは愛から生じる。自分の都合や利害ではなく、愛による交わりから世界を再創造しようとした方をわたしたちは知っている。▲この方は、愛の交わりの目に見えるしとして、十二使徒の土台の上に教会を立てられた。そして、わたしたちはこの教会の構成員である。▲現在、教区代表者会議(教区シノドス)に向けて、教会の在り方も含め、新しい方向性を教区全体で探ろうとしている。これには、信徒の積極的参加が不可欠だ。▲ところで、神父から見た良い信徒と、信徒から見た良い神父について、互いに相手の思いに耳を傾けてみてはどうだろうか。確かに、神父・信徒個人で意見の違いがあることだろうが、一度、立ち止まって振り返りたいテーマだ。

司祭叙階を前にして



ペトロ 大水 満

小学生のころ、お亡くなりになった島本要大司教さまが大水教会に来てミサをささげる姿をみて、「かっこいい」という印象を受け、司祭への強いあこがれを持ちました。しかし、「神父になるには体力と忍耐が必要」ということを聞き、喘息などをはじめ、よく病気をし、病院に行つて薬や注射を頂いているわたしが司祭になることは難しいと思います、すぐにあきらめました。

その後、地元の中学校に通っていましたが、中学2年の秋に転機が訪れます。当時の主任神父さまから「南山(中学校)に行かないか」というお誘いがありました。その神父さまとのやり取りでどんなに記憶をたどつても「神父にならないか」と言われた記憶はなく、家に帰つて母から「神学院に入ること、司祭になるということ」であることを聞いた覚えがあります。その時も「司祭になりたい」という大きな思いを抱きましたが、まだ体力に自信がなく、

あれこれと迷いました。そんな時、父が「自分のしたいようにしなさい。後のことは心配するな」と言ってくれました。このことばを受けてわたしは決意し、南山中学校への編入と、神学院への入学に至ったのです。

14歳(中学3年生)の時に長崎カトリック神学院に入学してから今日まで、わたしの生涯の半分を神学生として生き、その間、何度か「神学院を辞めよう」と考えた時もありましたが、神さまのお導きのもと、この司祭への道を歩んでいくことができました。わたしがここまで来れたのは、多くの方々からの数え切れないほどの物的霊的ご支援とお祈りによるものです。皆さま、本当にありがとうございます。この感謝の気持ちを忘れずに、新たな気持ちで日々イエスさまに倣つて、司祭として生きていきたいと思っています。未熟なわたしではありますが、今後ともお祈りとご指導をよろしくお願いいたします。

略歴 1983年1月26日長崎県新上五島町生まれ。95年4月、新島町立北魚目中学校現新上五島町立北魚目中学校入学。97年4月、長崎カトリック神学院入学・長崎南山中学校編入。98年4月、長崎南山高等学校入学。2001年4月、長崎コレジオ・長崎純心大学入学。05年4月、福岡サン・スルピス大神学院(現日本カトリック神学院)入学。11年2月20日、助祭叙階。曽根教会出身。

五島の教会堂など すべて巡礼

巡礼センター協力

昨年12月13日から17日にかけて、全五島に建つ教会堂など53カ所すべてを訪れる初めての巡礼企

画が、九州商船主催、長崎巡礼センター協力のもと実施された。多数の申し込みがあつ



2014年、 教区代表者会議 (教区シノドス) に向けて

日本には数多くの宗教が存在しているではないか。日本にある宗旨に従い、日々を生きていくものを、なぜ外国の宗旨を奉じなくてはならぬ。取り調べに当たった役人たちはこう言つて、キリシタンに棄教を迫つた(『津和野への旅』、147頁参照)という。ミカンの木(日本人)はミカンの実をつけたらよいものを、どうして柿の実(外国の宗旨)に惑わさ

る。これがそもそもの間違いだ、と。おもしろい論旨である。(教区本部事務局 山川 忠)

イエズス会が、説く教えの中で、どんな言葉が日本人の心に響き、ここを捉えたのだろうか。それはデウス(神・天地の創造主)だったに違いない。無限の知恵をもつて、万物を造り、万物の規範ともいえる「デウス」

が存在している。我々は「デウス」の中に生き、動き、存在している(使徒言行17・28)と。聞く誰もが「デウスの存在」に耳をそばだてたに違いない。一切の疑念を晴らし、いのちの解明を成すのは、「神の存在」だからである。

仏教が扱っているのは、人の根元に関わる、存在の解明だろうか。わたくしはどこから来て、どこへ行くかとしているのか、人が生きるにあたって、苦悶する、究極の問いに、答えているのだろうか。天地を造り、人をつくられた「創造主」を説くことなしに、人の存在が解明できるはずはないと思

つてしまうのだが。創造主と被造物との間には、明らかな差異があるはずなのに、仏教はその違いに触れていない。教えは、己事究明であり、人のありように尽きる。人には仏性(本来の自己)が備わるから、仏性に目覚めるように、と論し、修行によって自己を体得できた者が、仏(覺者)なのだ、と説く。キリスト教から見れば、仏はどこまでも被造物であり、人の領域に属するものなのではないか。人に存在を与えた創造主ではなく、被造物を追究している。

愛野教会、献堂60周年 記念式典と祝賀交流会



1951年(昭和26)11月に祝別された愛野教会(雲仙市)は、2011年で60周年を迎えた。この節目を迎えるにあたり、教会床の張り替え、赤いトンがり屋根の塗装を行い、昨年12月24日に60周年記念式典・祝賀交流会を挙げる。当日は、イルミネーション点灯に始まり、ブライ・ヤンアロイシイ主任神父司式によるクリスマスミサ、また祝賀交流会に、教会の信者、小さき花の幼稚園の園児・保護者、地域の方々が参列し、共に祝うことができた。

今後、地域のシンボルとしての輝きを再生させ、さらに雲仙市のランドマークの役割を担うことに祝うことができた。



半泊教会にて

巡礼を終えて、参加した男性は「巡礼をする信仰が深くなるように思います。受け継がれてきた信仰。五島の巡回教会はわずかな世帯で支えているところもあると聞きます。感じたことがいろいろとありました。巡礼者同士で互いに話をして

感動が分かち合えました」と感想を語った。

聖トマス西と15殉教者像建立を記念事業に

教区顧問会は昨年10月25日、聖トマス西と15殉教者像の建立を信徒発見150周年記念事業とすることを検討し、計画を進めることを了承した。設置場所は現在同殉教記念碑があり、毎年9月に殉教記念祭が開催されている中町教会。像制作者は、カトリック信者で長野県麻績村在住の彫刻家、池田宗弘さん。1992年には日本カトリック会館外壁の「復活キリスト像」を制作している。



千畳敷近くにて

寄付

太田忠則様(浦上) 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

長崎カトリック神学院 香典返し お礼とご報告

長崎カトリック神学院 知らせ ●祈りの一日 ①2月13日(月) ②3月5日(月) ③3月17日(土) 10時～15時半 ●祈りの日々 ①2月11日(土) ②2月18日(土) ③3月10日(土) ④3月17日(土) ⑤3月24日(土) ⑥3月31日(土) ⑦4月7日(土) ⑧4月14日(土) ⑨4月21日(土) ⑩4月28日(土) ⑪5月5日(土) ⑫5月12日(土) ⑬5月19日(土) ⑭5月26日(土) ⑮6月2日(土) ⑯6月9日(土) ⑰6月16日(土) ⑱6月23日(土) ⑲6月30日(土) ⑳7月7日(土) ㉑7月14日(土) ㉒7月21日(土) ㉓7月28日(土) ㉔8月4日(土) ㉕8月11日(土) ㉖8月18日(土) ㉗8月25日(土) ㉘9月1日(土) ㉙9月8日(土) ㉚9月15日(土) ㉛9月22日(土) ㉜9月29日(土) ㉝10月6日(土) ㉞10月13日(土) ㉟10月20日(土) ㊱10月27日(土) ㊲11月3日(土) ㊳11月10日(土) ㊴11月17日(土) ㊵11月24日(土) ㊶12月1日(土) ㊷12月8日(土) ㊸12月15日(土) ㊹12月22日(土) ㊺12月29日(土) ㊻1月5日(土) ㊼1月12日(土) ㊽1月19日(土) ㊾1月26日(土) ㊿2月2日(土) ㊿2月9日(土) ㊿2月16日(土) ㊿2月23日(土) ㊿2月30日(土) ㊿3月6日(土) ㊿3月13日(土) ㊿3月20日(土) ㊿3月27日(土) ㊿4月3日(土) ㊿4月10日(土) ㊿4月17日(土) ㊿4月24日(土) ㊿5月1日(土) ㊿5月8日(土) ㊿5月15日(土) ㊿5月22日(土) ㊿5月29日(土) ㊿6月5日(土) ㊿6月12日(土) ㊿6月19日(土) ㊿6月26日(土) ㊿7月3日(土) ㊿7月10日(土) ㊿7月17日(土) ㊿7月24日(土) ㊿7月31日(土) ㊿8月7日(土) ㊿8月14日(土) ㊿8月21日(土) ㊿8月28日(土) ㊿9月4日(土) ㊿9月11日(土) ㊿9月18日(土) ㊿9月25日(土) ㊿10月2日(土) ㊿10月9日(土) ㊿10月16日(土) ㊿10月23日(土) ㊿10月30日(土) ㊿11月6日(土) ㊿11月13日(土) ㊿11月20日(土) ㊿11月27日(土) ㊿12月4日(土) ㊿12月11日(土) ㊿12月18日(土) ㊿12月25日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土) ㊿3月5日(土) ㊿3月12日(土) ㊿3月19日(土) ㊿3月26日(土) ㊿4月2日(土) ㊿4月9日(土) ㊿4月16日(土) ㊿4月23日(土) ㊿4月30日(土) ㊿5月7日(土) ㊿5月14日(土) ㊿5月21日(土) ㊿5月28日(土) ㊿6月4日(土) ㊿6月11日(土) ㊿6月18日(土) ㊿6月25日(土) ㊿7月2日(土) ㊿7月9日(土) ㊿7月16日(土) ㊿7月23日(土) ㊿7月30日(土) ㊿8月6日(土) ㊿8月13日(土) ㊿8月20日(土) ㊿8月27日(土) ㊿9月3日(土) ㊿9月10日(土) ㊿9月17日(土) ㊿9月24日(土) ㊿10月1日(土) ㊿10月8日(土) ㊿10月15日(土) ㊿10月22日(土) ㊿10月29日(土) ㊿11月5日(土) ㊿11月12日(土) ㊿11月19日(土) ㊿11月26日(土) ㊿12月3日(土) ㊿12月10日(土) ㊿12月17日(土) ㊿12月24日(土) ㊿1月1日(土) ㊿1月8日(土) ㊿1月15日(土) ㊿1月22日(土) ㊿1月29日(土) ㊿2月5日(土) ㊿2月12日(土) ㊿2月19日(土) ㊿2月26日(土)

真珠湾攻撃から70年― 戦没犠牲者のための祈り

日本の平和使節団、現地を訪問

1941年12月8日
(現地時間) 日本軍によるハワイ州オアフ島真珠湾(パールハーバー)攻撃から70年を迎えた昨年12月、世界連邦日本宗教委員会の副会長で教区エキュメニズム・諸宗教委員会委員長長の野下千年神



父、教区と同委員を務める長谷功神父は、日本からの平和使節団60人余の一員として現地を訪れ、追悼式典に参列した。一行は12月7日、真珠湾海上のアリゾナ記念館において地元のカトリック信者らと共に戦没者の慰霊と平和のために祈り、翌8日は各宗教の代表者らを伴いホルル教区のアリゾナ・シルヴァア司教を表彰訪問した。司教は、「世界平和への夢を分かち合い、対話運動への理解を広げたい(野下神父談)」との一行の思いに共感を示し、「運動が今後ますます広がっていくことを

願う」と励ましの言葉を送った。
カトリック・神道・仏教などによる合同使節団の現地訪問は今回で30回目を迎えた。

(写真は戦没者の名前が記された銘板の前で折る使節団。前列手前から長谷師、野下師、現地のフアンシスコ中川師)

お告げのマリア修道会 誓願式

1月9日、長崎市長崎市小江原にあるお告げのマリア修道会本部聖堂で初誓願・終生誓願式のミサが行われた。高見三明大司教が司式し、多くの司祭と誓願宣立者の家族や関係者、先輩シスターや志願者らが参列した。大司教は説教の中で受式者に、「神さまの望み

に従って生きる奉獻であるように」と話した。

終生誓願を宣立した姉妹の1人は、「これから神さまの愛を伝えるために、自らを神さまと人々にささげながら、マリアさまのように仕えていきたい」と決意を述べた。

初誓願宣立者 テレジア

大水奈都美(西木場)

終生誓願宣立者

カタリナ

野下 絵美(浦上)

谷脇 千尋(大崎)

リドヴィナ

平本 茜(紐差)

マリア

眞倉まゆみ(仲知)

マリア

岩崎亜由美(西木場)

マリア

大水 友美(西木場)

教区修道女連盟 新年の集い

長崎教区修道女連盟は1月7日、新年の集いをカトリックセンターで行い、約120人の修道女

カトリック・プロテスタント合同

長崎キリスト教一致礼拝



宗教委員会委員長長野下千年師(カトリックセンター)によると、神父や牧師など教会指導者30人余、各団体からの信徒約450人が一同に会して行われた大規模な一致祈祷集会は今回が初めて。
高見三明大司教が説教を担当し、「相手に対する誤解や偏見があればそれらを正し、共通した目的のためにキリストの愛の

アダム
阿野勝見修道士
(コンベンツアル
聖フランシスコ
修道会)



昨年12月8日、無原罪の御宿りの祭日に帰天。70歳。
南松浦郡新上五島町船隠出身。1963年に有期誓願宣立。以後、小長井や本河内、東京で、主に教育の現場でよく指導者として活躍した。

特に1973年から91年までは、聖母の騎士学園寮の舎監を務め、多感な時期の小神学生や一般学生たちを温かく見守り続けた。
長距離走が得意で、さっそうと駆け抜ける姿を目にした方もおられるだろう。

葬儀・告別式は12月9日、本河内教会で同修道会日本管区長の崎濱宏美神父司式により執り行われた。

続いて高見三明大司教が「信仰について・日本26聖人列聖150周年にあたって」のテーマで講演を行った。2015年の信徒発見150周年ま

力なくしては教区は成り立たないといっても過言ではない」と、日頃の協力に感謝の意を表した。

長距離走が得意で、さっそうと駆け抜ける姿を目にした方もおられるだろう。

葬儀・告別式は12月9日、本河内教会で同修道会日本管区長の崎濱宏美神父司式により執り行われた。

続いて高見三明大司教が「信仰について・日本26聖人列聖150周年にあたって」のテーマで講演を行った。2015年の信徒発見150周年ま

ルカス
谷川義美神父
(神言修道会)



昨年12月13日午後7時18分、胆管がんのため入院先の名古屋第二赤病院で帰天。71歳。

1940年11月24日、長崎市生まれ、三ツ山教会出身。62年神言修道会入会。69年10月18日司祭叙階。70年パラグアイに派遣され宣教活動に従事。81年に帰国し、南山教会に赴任。87年名古屋南山高等中学校校長、96年半田教会主任、2002年南山短期大学学長、08年からは再び半田教会主任として宣教司牧にあたっていた。

海外宣教学校運営、小教区司牧と多方面に及ぶ活躍は目を見張るものがあるが、本人が最も望んでいたのは小教区での宣教司牧であったという。あたかも父親のように慕っていた信徒たちに見送られ、御父の御許へと旅立った。

徒が四旬節を有意義に過ごすための冊子を作成し、利用を呼び掛けている。

この冊子は、四旬節中の毎日のミサで朗読される福音を通して、各自が神と向き合い、感じたこと、気付いたこと、またその日1日の決意を書き留める形式のもの。

小教区ごとの注文受付は終了したが、個人での申し込みも受け付けている。1冊200円(送料別)。問い合わせは、生涯養成委員会(TEL095-841-7731)まで。

巡回教会めぐり

紐差小教区

大佐志教会 信者の減少が課題



この地に信者がいつの頃から住み着いたのか定かではないが、以前の教会は大正初期に建てられたと聞いている。その頃60戸余の信者で何度かの

今年18年目の教会信者の減少が課題

まにささげられた教会として今年18年目の歴史を刻んでいる。これからも信仰と生活の礎として大切に守り続

ホケ津教会

緑あふれる自然の中の教会



わたしたちの先祖は、かつて大村藩に属し、外海地方に住んでいた。過酷な弾圧の下で、先祖は信仰を守り抜くために住み慣れた土地を離れ、すべてを捨て五島へ逃れた。しかし落ち着く所なく、平戸へ渡った。戸数は約10戸、姓も皆、山野を名乗り、お互いに助け

宝亀小教区 山野教会 平戸へ渡った

五島へ逃れた後



合い励まし合いながら、苦しい生活条件を克服して信仰を守り、子孫に伝えていった。これが山野の信者の始まりである。1820年前後(文政・天保)ではなかったかと推定している。

よって建てられた。ポア師の代に新たな教会建設の準備が進められ、1924年7月、ポネ師によって、信者の物心両面の熱心な奉仕の下に現在の教会が新設された。祝別は8月20日で洗礼者ヨハネにささげられた。(宝亀小教区100年のあゆみ「信仰のあかし」から抜粋)(宝亀教会主任・大水文隆)

2014年に開催する教区代表者会議(教区シノドス)に向けての準備と、今年の日本26聖人列聖150周年記念に関連し



小冊子 『四旬節の黙想』を作成 ―教区生涯養成委

教区生涯養成委員会は信(中濱敬司委員長)は信

